

認定こども園せんだい幼稚園 園長 田原 慎也

遊びは学びのチャンスであふれている

以前、園では保護者の方に「教材」を購入して頂き、その教材を使って保育を行なうことがありました。年長児になると、ひらがなを学ぶような教材があったり、数を数えるような教材があったり、楽しくお勉強ができるように工夫されたものでした。しかしながら、個人ごとの教材で全員がひらがなを学んでいるはずなのに、遊びや日常生活の中で文字を書く子はほとんどいなかったように思います。文字を書く練習をしてもそれらの機能や役割まではわからなかったからだと思います。

教材を使うのをやめて6~7年ほど経ちましたが、園内には以前よりむしろ子どもたちが書いた文字がたくさん見られるようになりました。教材をやめたのは文字や数に触れる機会が重要ではないと考えていたからではありません。ワークブックなどの抽象的なもので文字や数に触れるよりも、日々の生活や遊びといったリアルな経験の中で文字や数に触れて、その意味を感じたり考えたりするほうが子どもにとってより学びに繋がると思ったからです。

もちろん、教材がない分、子どもたちの興味や遊びの文脈に沿って、保育者が文字や数に繋げていくような工夫や専門性が必要になります。積み木で高いタワーを作ったからそのまま置いておきたい。誰にも壊されないように見張っていたいけれども、ずっと見ているわけにはいかない。そんなときに『「×」って紙に書いて貼っておく?』『「こわさないでね」って書いて貼っておこうか?』。そんな言葉掛けなどで、子どもたちは文字を書こうとし、どのような場面で文字を使えばいいかをなんとなく理解していきます。

「自分の作った泥団子がわからないから名前を書いておこう」、「明日持ってくるものを忘れそうだからメモしておこう」、そういった書くための「動機付け」が学びにとって大事なんだと思います。遊びの中で学べる機会は十分にあふれており、その1つ1つを子どもたちと味わいながら過ごしていきたいと思っています。

01 お便り形式の見直しについて(11月から)

現在、月に約1回のペースでクラス便りを配布していますが、本年度から今、子どもたちが興味を持っていること、夢中になって取り組んでいることをタイムリーにお知らせしたいということで、クラス前に掲示していたドキュメンテーション(写真付きの保育記録)をホームページ上でも公開し、保護者の方も閲覧できるようにいたしました。

決められた日にちに配布するクラス便りでは既にブームが過ぎ去った内容であったり、かなり前の出来事をお知らせしたりということがありましたが、「よりタイムリーにお知らせする」ことを優先できないかという話題から変更にいたしました。

そして、今まで作成しているクラス便りとドキュメンテーションの役割が重複してしまうため、今までのお便りについて以下の通り変更させていただくことにいたしました。「クラス便り機能を維持しつつ、今まで以上にタイムリーにお知らせする」を実現するための変更ですのでどうぞよろしくお願い致します。

● 今後のお便りの配布について

・配布日は従来通りで、従来スタイルもしくはドキュメンテーションを再構成したお便り1枚/もしくはドキュメンテーション2枚を配布する

※このクラスは文章でお伝えしたいことがある、などクラスごとで状況は異なりますので、クラスによってクラス便りになるかドキュメンテーションの配布になるかは異なります。

※ドキュメンテーションは今まで通りホームページに日常的に公開しますので、今まで公開したものの中から今のクラスの状況や子どもたちの育ちがより伝わるものを担任が2枚選択して配布することになります。配布していない分でもホームページ上で公開しているものもある場合もありますので、お時間あるときにぜひホームページもご覧ください。